

はりっしも探索



水草(藻)調査

ナガエミクリ、バイカモ、カナダモ、ヤナギモ、エビモ……
河川によって種類に違いが！

■河川調査班では、新たにエリア内河川の水草・藻などの植生調査を実施しました。植物生態に詳しい専門家に調査指導をお願いし、植生状況の観察、水草の採取、種類の特定、さらに押し葉・標本づくりを実施。日ごろ見慣れている藻類も、安曇川沿岸用水の流入する河川、上流が無く湧水だけの河川など、河川の水質や温度によって植生に違いがあることがわかりました。棲息する魚や水草の種類で河川の健康状態も見えてくるようですので、今後も調査を継続していきたいと思ひます。



【植生状況】★調査：9月21日 ★気温：30℃

| | |
|-----------------------------------|---|
| 針江大川明生会館付近 (水温 17.8℃) | ナガエミクリが多く、次にバイカモ。オオカナダモ、コカナダモ、エビモなど |
| 霜降大川会議所付近 (水温 22.5℃) | ヤナギモが多く、エビモ、リョクソウルイ、他には無かったササバモが植生。 |
| 霜降ナカズシ *ほぼ湧水(水温 18.4℃) | 水草は無く、水生のコケ類のみ。 |
| 正伝寺北側水路(道路南側) *全湧水(水温 16.3℃) | カササゲ、ヤナギモ、ナガエミクリ、エビモ、リョクソウルイなど |
| 正伝寺北側水路(道路北側) *全湧水(水温 14.7.3℃) | ミズハコベ、ウキグサ、ナガエミクリ、リョクソウルイなど |
| 小池川 (正伝寺付近) | 上流はオオカナダモ(水温 18.3℃) 下流はナガエミクリが繁茂(水温 17.9℃) |

協議会視察から

湖東の水辺景観

昨年、秋深まる11月24日、湖東の水辺を訪ねました。

■伊庭の水辺景観 (東近江市)

平成30年に重要文化的景観「伊庭内湖の農村景観」として選定され、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」の構成文化財にも選定されている伊庭地区。現在は「針江・霜降」のような湧水はありませんが、集落の背後の徹山に端を発する



今も残る「カワト」、「岸建ち」の家屋



案内：湖辺の郷伊庭景観保存会

伊庭川の豊富な流水を利用した水運が発達しました。昭和30年半ば頃までは町中に網の目のように張り巡らされた水路も、自動車の普及、水運に代わる輸送・移手段の発達により、水運の必要がなくなると水路は暗渠により塞がれ、自動車が行き来できる道路となりました。かつては各家に田舟があり、川を利用する為に降りられる「カワト」があり、今でもいくつかは残っています。また、琵琶湖を航行する船は伊庭港に寄らなければならないという決まりが存在していたこともあったそうです。



「田船」は水辺景観のシンボル



河川に鯉ゾーン/蛍ゾーンあり

「文化庁研修会」 テーマ 「空き家の活用」



大溝・関係案内所「potopoto」パンフ

自治協議会(兵庫県朝来市)に続き、「大溝の水辺景観まちづくり協議会」による空き家の調査活用、市の移住施策との連携についての発表がありました。いずれも地域特性をふまえた積極的な活動が進められています。針江・霜降区内でも空き家が増加傾向にあります。将来に向けた取り組みに生かしていきたいと思ひます。



■八幡の西の湖水郷 (近江八幡市)



▲西の湖・ヨシ帯
▼後方に「権座」



案内：NPO法人まるよし

平成18年に重要文化的景観の第1号として選定された「近江八幡市の水郷」の「西の湖・ヨシ帯、円山地区」。かつては、ヨシを使った産業が盛んでヨシ帯にはそれぞれ所有者が存在し、刈り取ったヨシの利用もスダレや屋根材などに利用されていたが、現在はあまり利用がなく保全自体が難しくなっているようです。

「西の湖」の中にある浮島「権座(ごんざ)」では主に水稲が栽培されていますが、食用米の生産より「権左で栽培されたお米」という付加価値を付けた酒米の生産が主な作物となっているようです。

■安土の湧水

安土と言えば信長。



安土では、愛知川の伏流水が湧き出ていて、かつて信長公にお茶を入れたと伝わる「梅の川」、毎週の清掃できれいに保たれている「北川湧水」など、湧水地や湧水公園を歩きました。



▲「北川湧水」洗濯用・野菜洗い用などに区切られ足湧(あしゆ)と清掃案内あり
▶「安土ぶらりまちあるき」アプリ

◆毎年いろいろな所を視察させていただいていますが、「針江・霜降」のようにいたるところからきれいな湧水が湧き出るようなところは滅多にありません。近年では湧水は残っているが洗車や花の水やり程度の利用に留まっているようです。生活様式の変化により利用が減っているのは仕方ないとは思いますが、貴重な湧水を守って行かなければならないと思ひます (視察報告 北野俊朗)

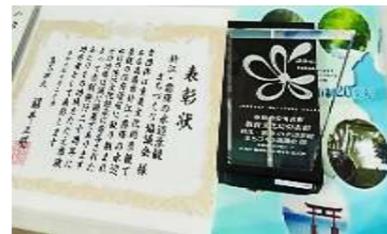
文化的景観保護実務研修会

◆重要文化的景観の保護行政に携わる都道府県・市区町村職員等を対象にした、文化庁主催の研修会が12月19日・20日大溝の水辺景観一帯で開催され、当協議会も聴講しました。NPO尾道空き家再生プロジェクト(広島県尾道市)による基調講演。事例発表は、生野銀山で知られる生野地域

はりっしも information

守る。伝える。活かす。

高島市制20周年 「教育文化功労表彰」受賞



針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会
情報・インフォメーションはこちらから
<https://harishshimo.jp/> Facebook



私たちの大切な「水の文化」を
「守り、伝え、活かす」
活動を進めています。

- カバタ調査・保全事業
- 河川調査 ●景観保全事業
- 水辺景観資料室整備事業
- 親水まちづくり事業など

■カバタの「保存修理」「追加登録」等のご相談、「カバタ調査」「河川調査」「文化財調査」等、「水辺景観資料室」のご利用や資料ご寄贈等、重要文化的景観の整備活用のお問い合わせは、協議会役員までご連絡ください。

<令和6年度>

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会 役員

- 会長 伊藤 昭
- 副会長 山川 隆
山中 昌浩(針江区長)
藤本 徳治(霜降区長)
- 監事 水田 正彦 青木 博
- 【針江】 足立 亨・北野 俊朗・高田 一雄・高橋 正通
前田 豊彦・三宅 進・森田 茂之・森田 幸則
- 【霜降】 海東 弘・山川 三津浩

